

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

9

Spt 2026
No.378



【特 集】JA庄内たがわが誇る 秋の味覚 梨/ぶどう



耕そう、大地と地域の未来。

JAグループ



JA庄内たがわが誇る

秋の味覚



ブドウって？

ブドウは、栽培の歴史が古く、世界中で親しまれている果実です。生で食べることが多いのは実は日本ならではの、海外では主にワインの原料として栽培されています。皮の色は「巨峰」などの黒系、「マスカット」に代表される青系、「甲斐路」などの紫系3系統。主成分の果糖やブドウ糖などの糖質には疲労回復効果があるので、疲れた時のおともに。ブドウはつるに近い部分の方が甘みが増すため、下から順に食べると最後までおいしくいただけます。

ブドウの栄養

主成分の糖質に加え、カリウムが豊富です。皮や種には、抗酸化作用のあるアントシアニンやレスベラトールが豊富です。活性酵素を取り除き老化を防いだり、動脈硬化などの循環器系疾患の予防、眼性疲労の抑制効果が期待されています。

ブドウの選び方、保存方法

実にハリがあり、全体的にきれいに色づいているものを選びましょう。軸がしっかりしており、茶色くなっていないものが良いです。白い粉（ブルーム※参照）が付いている方が新鮮です◎ビニール袋に入れて、冷蔵庫の野菜室で2～3日保存できます。皮ごと冷凍保存も可能。

※ブドウの表面を保護するブルームという物質。安全なので食べても大丈夫です。

梨って？

日本で出回っている梨は、「日本ナシ」「西洋ナシ」「中国ナシ」の3種類に分類でき、その中でも国内生産量が圧倒的に多いのが「日本ナシ」。管内では主に「幸水」「豊水」「あきづき」が生産されています。

梨(日本ナシ)の魅力

さわやかな甘さ、みずみずしくてシャリシャリとした独特の食感が魅力のナシは、カロリーも低く、秋の食後のデザートに最適な果物です。この食感は、石細胞という細胞が作り出しており、腸のぜん動運動を促し、便通をよくする効果があります。また、タンパク質を分解するプロテアーゼという酵素が含まれているので、すりおろして肉料理に合わせると、お肉が軟らかくなります。

梨の栄養

果糖やリンゴ酸、クエン酸がたっぷりと含まれており、疲労回復効果が期待できます。清涼感のある甘さは、糖アルコールの一種のソルビトールで、整腸作用があります。また、カリウムや食物繊維を含み、水分補給やむくみ・便秘の予防に効果的な果物です。

梨の選び方、保存方法

梨は、皮にハリがあり、ずっしりと重みのある、形がびつてなく丸みがあるものが◎。赤なしは、表面のコルク質がざらざらしている方が新鮮です。保存する場合は、乾燥を避けるため、ビニール袋に入れ、冷蔵庫の野菜室での保存がおすすめ。追熟する果実ではないので、なるべく早く食べましょう。

品種の紹介



栽培講習会



デラウェア

アメリカ原産。小粒で果皮が赤紫色。強い甘みとほどよい酸味が調和し、さっぱりとした味わいです。白ワインの原料としても使われています。本来は種があり、ジベレリン処理で種をなくしています。

ピオーネ

「巨峰」を母親に持つ大粒で紫黒色のぶどう。糖度が高く、香りがよい。適度な酸味で濃厚な味わいで果肉はしまっておりジューシー。巨峰に比べて日持ちがよい。由来はイタリア語で「開拓者」を意味する「pione（ピオーネ）」から。

巨峰

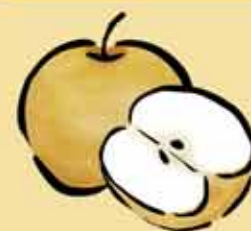
親が「石原早生」×「センテナル」の大粒の黒ブドウ。果皮は紫黒色で粒が大きく、歯ごたえがあってみずみずしい。香りが良く、優しい酸味と強い甘みが特徴。正式な品種名は「石原センテナル」。

シャインマスカット

「安芸津21号」と「白南」を親に持つ、緑黄色のぶどう。糖度が高く、酸味は控えめ。しまりのある果肉は果汁が豊富で、マスカットの芳香を持ちます。また、果皮が薄くてやわらかく、皮ごと食べられる。



品種の紹介



幸水

「菊水」と「早生幸蔵」を親にもち、「豊水」「新水」とともに梨の「三水」と呼ばれる梨の代表品種の赤梨。みずみずしく甘みが強い。甘さの中にほどよい酸味があり、果汁も豊富で食味良好。

豊水

親は「幸水」×「石井早生×二十世紀」とされている赤梨。比較的日持ちがよく、果汁たっぷりで果肉はやわらかい。強い甘味の中にほどよい酸味があり食味に優れる。

あきづき

親は「新高×豊水」×「幸水」で主要品種3つの優れたところを併せ持った赤梨。果実はやや大きめで、果肉は緻密で糖度が高く、果汁も豊富。酸味は少なめでシャリシャリとした食感が特徴。

目揃え会



栽培講習会



選果

北部支所管内 ニットクラブ「どんぐり」☆

いしがわ ち はる かわむら しずこ
石川 千春さん(69)・川村 静子さん(68)
おわた うめはら み え
太田 みつさん(76)・梅原 美恵さん(76)



編み物で広がる世界

私たちニットクラブ「どんぐり」☆は、編み物好きの4名で活動しています。北部支所女性部から編み物に興味ある人を集めてサークルを結成し、現在は、7月から冬に向けてセーターを編んでいます。月に2回程度の頻度で集まり、会話やお茶をしながら編み物を楽しんでいます。孤独な作業になりがちな編み物ですが、一緒に集まることで教え合い、アイデアの共有など技術の向上にもつながります。完成した作品は自分で使用したり、誰かにあげたりする他、11月に開催される地域の文化祭などで展示しています。

編み物は、小さな積み重ねが大切で焦らずゆっくりとやるのがポイントです。そして想像通りのものができたときの達成感や満足感は編み物ならではの楽しみです。完成したら次の作品へ、またその次へとどんどん作りたいものや目標ができて世界が広がっていくような魅力があります。また、孫からのリクエストや送った作品を喜んでもらえるといつも以上にやりがいを感じます。

私たちは、これからも日々学びながら、ずっと編み物を続けていきたいと考えています。編み物はいつでも手軽に始められます。初心者の方も、すでに家で編んでいる方も誰でも大歓迎です。私たちと一緒に編み物を楽しみましょう！

あいと
キッズ



サッカー選手に
なるのが夢!!



農業機械も
格好良くて好き

健康で人に優しく

羽黒支所管内

あべ ゆうま りょうま
阿部 友真くん(7)・稜真くん(4)

明るく優しいお兄ちゃんの友真くんは、うどんが大好き。今年からサッカースクールでサッカーを習い始めたよ。ワールドカップ観戦も盛り上がったよ。

明るく元気な稜真くんは、恐竜が大好き。特にティラノサウルスとギガノトサウルスが大好きだよ。チョコレートとドーナツが大好きです。

ファミリーファーム

FAMILY FARM

今につながる言葉の力

南部支所(櫛引)管内 井上 幸治さん(62)

私は、企業勤めしていた頃から合わせると稲作を約30年、父親から本格的に和梨栽培を継承して約2年になります。現在では農事組合法人の構成員として水稲2.8ha、ソバ0.8haの管理を行い、個人では和梨167を栽培しています。

農業、特に和梨の栽培は冬の剪定から秋の収穫まで1年を通して作業があり、つらいと感じるとずっとつらい作業になります。2年前に大病を患ったこともあり、まずは楽しく作業することを心掛け、無理をせず、気持ち乗らないときや疲れたときはやらないという考えで日々作業しています。しかし気になるところが目に入るとつい作業に集中し、1日作業してしまうこともあります。

また企業で働いていたときの上司や部下、先輩や後輩などから「忙しい人は忙しいとしゃべれない」「部下を育てるには上司は待ち、全ての結果の責任を取る」などの言葉をもらい、今思えば当時の職場環境は恵まれていたと改めて感じ、現在の行動や働き方にも影響を与えています。

今後は和梨農家として、先輩農家のようにもっと大きくきれいな和梨を生産し、また農事組合法人の構成員として、さらに多くの面積を安心して任せられることができる管理を行っていききたいと思います。

SHONOSETRY

庄農生トライ

3年間で培った力

こばやし ふうま
食料生産科3年 小林 楓実さん



私は小さい頃から機械に触るのが好きで、将来はそれを仕事にしたいという思いから庄農に入学しました。2年生で「農業機械」を選択し、実習でガソリンエンジンの分解・組み立てを行った際、エンジンが無事にかかった時の達成感は今でも忘れられません。現在は、地元で幅広い機械に対応できる自動車整備士になることを目標に、日々の授業に

真剣に取り組んでいます。

学校生活では、3年間所属したバドミントン部で継続する力と忍耐力を養うことができました。3年A組の仲間たちと過ごす毎日也是非常によく、充実しています。

現在は高校生活の集大成として小麦の栽培研究に注力しており、成果を披露する「課題研究発表会」に向けて準備を進めています。これまで培った技術と粘り強さを活かし、これからも夢の実現に向けて努力し続けたいと思います。



温室メロン目揃会・品評会

温室メロン部会は8月5日、三川町にあるJA青果物集出荷施設で目揃会を開いた。2026年産の生育は例年並みで、目立った病害虫の被害はなく果実の肥大なども順調に推移している。糖度も十分に確保できており品質も良好。

また、同部会は8月21日に第11回温室メロン品評会を開いた。この日は、県庄内総合支庁農業技術普及課、丸果庄内青果、JA営農販売部園芸特産課職員5人が審査員となり、メロンの外観・形状・荷姿・糖度の4点を審査した。部会員が出品した6点の中から、庄内町の伊藤正義さんのメロン(ヴェルダ)が最優秀賞に輝いた。



庄内柿防電ネット研修会

庄内柿生産組織連絡協議会は8月28日、鶴岡市羽黒地域で庄内柿の防電ネット研修会を開き、部会員約10人が参加した。

2026年産は着果数や肥大状況も良好で順調に推移しており、電害を未然に防ぐことを目的に実施した。JAでは、過去に降電被害で大幅な減収となったことから防電ネットの設置を推奨しており、防電ネットにかかる助成も行っている。

この日は、同地域で庄内柿を生産している岡部順さんが講師を務め、実際に防電ネットの設置を行いながらポイントを確認した。



山ぶどう園場巡回

あさひ山ぶどう部会は8月25日、鶴岡市朝日地区で、「月山ワイン」の原料となる山ぶどうの生育状況を確認する園場巡回を行った。

同部会の役員10人が参加し、月山ワイン山ぶどう研究所職員ら10人が同行。山ぶどうをはじめ、セイベル9110、ヤマソービニオン、メルローといったブドウ8品種、11園場の生育状況や糖度などの品質を確認した。

2026年産は、天候に恵まれ生育は順調にすすんだ。糖度も順調に上がっており、色づきも良好。



地域とJAを結ぶネットワーク 各地の話題を追って

JA NEWS

持続可能な農業の実現に向けて

JA山形中央会・県農政対策本部は8月18日、「食料・農業・地域政策推進山形県要請集会」を山形市で開き、県内JAグループの関係者約750人、当JAからは農政対代議員等63人が参加した。県知事らに対し、米の需給環境の整備、生産現場の実態をふまえた水田政策の見直しを強く求めた。

また、生産者や消費者、青年部、女性部の代表ら4人が備蓄米の早期買入や物価高騰支援、米の需給と価格の安定を訴えかけた。当JAからは生産組合長会の池田宏志会長が意見表明を行った。最後に、県農協青年組織協議会の芳賀善洋会長の頑張ろう三唱で要請実現への決意を強めた。



山形えだまめ食味向上プログラム現地説明会

山形県農林水産部園芸大国推進課とJA庄内たがわは8月25日、「山形えだまめ食味向上プログラム」の現地説明会を開いた。

参加者は、エダマメの園場や選果場を視察した後、光センサーの分析結果が異なるエダマメを食べ比べる試食会を行った。その後、各産地の「食味向上プログラム」の取組状況や今後の販売戦略・PR活動について意見交換会を行った。

JAでは、今後も同プログラムに継続的に取り組み、ブランド力強化と生産性の向上に努める。



生産組合長会夏期全体研修会・全量集荷推進大会

生産組合長会は8月23日、鶴岡市で夏期全体研修会と令和8年産米全量集荷推進大会を開いた。

各地区の生産組合長やJA役職員ら約130人が出席。研修会では、水田農業研究所シニア専門員の横山克至氏が「新品種『ゆきまんてん』の品種特性について」と題し講演。また営農販売部園芸特産課から園芸重点品目の紹介があった。

その後の令和8年産米全量集荷推進大会では、同会の池田宏志会長が大会宣言を行い、生産者、JA役職員が一丸となって取り組むこととした。



北部女性部フラワーアレンジメント教室

女性部北部支部は8月10日、庄内町第四まちづくりセンターでフラワーアレンジメント講習会を開いた。部員23人が参加し、リンドウやトルコギキョウ、スプレー菊、カスミソウを使用したフラワーアレンジを楽しんだ。

この日は、同町で花を生産している鈴木節子さんと斎藤良子さんが講師となり、アレンジのポイントを説明。

最初に三角形になるように花をオアシスの中心に向けて挿し、中心を決めて左右対称に生けるようにアドバイスした。完成した作品は自宅に飾られ、日々を彩る。



温海女性部手づくり教室

女性部温海支部は8月26日、鶴岡市のJA温海地域センターで手作り教室を開き、部員約20人が参加した。

布リースは、ハンカチなど使わなくなった布を用意し、1辺5センチに切り揃え、箸などを使いボンドにつけてリース用の土台に刺して完成させる。

部員らは、各々が好きな布を使い和気あいあいとリース作りを楽しんだ。布を付け終えた後、マニキュアなどを塗り華やかな作品に仕上げた。完成した作品は地域の文化祭に展示する他、自宅に飾るなどして楽しむ。



焼畑あつみかぶ意見交換会・試食会

鶴岡市やJA庄内たがわ、地元の生産者などで構成される「焼畑あつみかぶブランド力向上対策協議会」は8月20日、同市温海庁舎で今年初めて実証栽培を行った春播き初夏収穫の焼畑あつみかぶの試食・意見交換会を開き、関係者ら15人が参加した。

意見交換では、来年の作付けに向けた害虫対策の検討を進め、焼畑に使用する杉の葉の確保が課題に挙げられた。試食会では、焼畑あつみかぶの特徴であるパリシャキ感はやや欠けるものの着色や味など良好と評価。

同協議会では来年に向け、関係機関と連携しながら意見交換会であげられた課題解決に向けた協議を行い、収量確保につなげていく。



熱中症対策声かけ隊

営農販売部は8月3日から、JA集出荷施設で管内農家・組合員の熱中症等による農作業事故の防止を目的とした呼びかけを行い、チラシ、イオン飲料を手渡した。

出荷に訪れた農家は「自分でも熱中症対策はしているがより気を付けたいと思う。こういった活動はすごく助かる」と笑顔で語った。

JAでは引き続き、生産組合長会夏季研修会や組合員訪問時に声掛け等の活動を行い、熱中症等による農作業事故の防止につなげていく。



三川女性部親子料理教室

女性部三川支部は8月7日、三川町公民館で親子料理教室を開いた。この日は、同町内で生産された野菜や果物を使い、牛プルコギキンパ、コンソメ野菜スープ、ジャガイモとコーンのホットサラダ、メロンのトライフルパフェを調理した。

子どもたちは保護者や部員たちの手本を参考に、ニンジンやジャガイモなどの皮を剥いたり、包丁で細かく切る作業に挑戦した。同支部では今後も、地域の人々との交流を深める企画を行っていく予定だ。



「北限のすだち」栽培講習会

庄内総合支庁は庄内地域の新たな特産品として期待されるすだちの栽培技術研修会を9月1日、鶴岡市朝日地域で開き、庄内地域のすだち生産者ら約20人が参加した。

庄内地域では現在、17人の生産者が栽培しており、「北限のすだち」の名称でPRしている。26年産は、天候に恵まれ、目立った病害虫被害もなく、着色など良好で順調に推移。参加した朝日のすだち生産グループの佐藤勝さんは「色味がよく酸味も十分。もっと若い人に生産が広がってほしい」と語った。



赤かぶ栽培講習会

赤かぶ部会は7月31日、羽黒支所分析センターで赤かぶの栽培講習会を開き、部会員約10人が参加した。

この日は、県庄内総合支庁農業技術普及課の小田節子主幹を講師に招き、高品質な赤かぶ生産に向けポイントを確認した。

小田主幹は「軟腐病を防ぐために、高温時の窒素肥料の使用は控え、圃場の排水対策を行いましょう。暑さが厳しくなるので、熱中症対策を心がけ、安全に気をつけて作業してください」と呼びかけた。



第60回 庄内フラワーショー

日時 令和8年9月25日(金)～27日(日)

会場 酒田駅前交流拠点施設ミライニ 1階光の湊ロビー (酒田市幸町1丁目10-1)

内容 【1日目】9月25日(金) 11:00～12:00 花きの審査会 12:00～16:30 一般公開
 【2日目】9月26日(土) 10:00～16:30 一般公開、人気投票
 ※人気投票ご協力の方へ抽選で花ギフトプレゼント(先着120本) 人気投票は16:00で終了
 【3日目】9月27日(日) 10:00～ 花の販売会
 ※売り切れ次第終了 ※9:50～整理券配布。お一人様2点までの購入

主催 庄内花き生産組織連絡協議会

共催 JA庄内たがわ、JAあまめ、JA庄内みどり、JAそでうら、JA全農山形

その他 入場料無料
 ※花のご購入は現金のみとなります。
 ※お越しの際は隣接の立体駐車場をご利用ください。(2時間無料)

問合せ JA全農山形庄内園芸推進室 今野 TEL:0234-26-5255

特売日が変わります

9月1日より【金・土・日】に開催して
 おりました曜日限定の【特売日】を廃止し、
新たに!! 毎日がおトク!
LINE会員様限定
 ～通常価格から曜日に関係なくいつでも2円/瓶引きの特売日～
 に変わります!
毎月末日にクーポンコードを配信

LINE会員なら...

曜日関係なく2円/瓶引き

今までのLINEDAYも開催!!

3円/瓶引きから5円/瓶引きに値引額アップ

【イメージ】 クーポンコードを入力するだけになりますので
 この機会にぜひあいとサービスLINEをご利用ください!!

※ 毎日のクーポンコードもLINEDAYの
 クーポンコードも共通の番号になります
 (値引額は毎日、2円
 LINEDAY、5円
 に変わります)

お友だち追加はこちらの
 QRコードから



株式会社あいとサービス ☎ 64-0555

産直人め農マルシェ 9月・10月イベントのお知らせ

9/19(土)～23(木)

彼岸用
切花販売

秋彼岸用の切花をご用意しております。

10/3(土)～4(日)



秋の
味覚
フェア

りんご、ぶどう、梨など秋の味覚を販売

9/26(土)～27(日)

新米
フェア

当店でお米をお買い上げのお客様に限り、
 発送時の料金がお得に! ※一部商品を除く

全国一律

10kgまで 900円
 (沖縄・一部離島を除く)

JAカードでお買い上げの方は 請求時に5%割引!

4月から9月までの営業時間9:00～17:30(定休日:なし)/10月から3月までの営業時間9:00～17:00(定休日:1/1～3, 1～3月の第2・第4水曜日)
 なお、営業時間は諸事情により変更になる場合があります。変更の際は、ホームページなどにてお知らせします。
 〒997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1 TEL0235-25-6778 FAX0235-26-7880 E-mail sanchoku@ja-shonai.or.jp

農産物を出荷していただける産直協力を随時募集しています!

オンラインショップ 産直人め農マルシェ

検索

デイサービス えがお・デ・あいと

活動紹介



他にもきゅうりや
 ネギなどの野菜や待望
 のスイカも続々収穫し、
 食事の際やおやつ時に
 提供しています。
 我々職員にとって皆様
 のおいしいお顔が一番
 の収穫ですが、うふ



おいしいの

きりきり

ぱくっ

ぱくっ

ぱくっ

ぱくっ

総務部福祉介護課 TEL:0235-33-8165 FAX:0235-33-8166 E-mail:fukushi@ja-shonai.or.jp

「心の声」

今年の十五夜は9月25日。
心を動かされた瞬間は？

今夏、鹿児島県に家族旅行に出掛け、知覧特攻平和会館を訪ねました。隊員の家族へ宛てた手紙を拝読し、大きく心を揺さぶられました。戦争の歴史をただ否定するのではなく、先人が国や家族のために戦った歴史について、改めて考えたいと思います。

M・Kさん【京都府】

私の心を動かされた瞬間は夏の甲子園で敗れた仙台商英高校の須江監督の試合後の談話です。「継投の運はない。一番いい投手を攻略された。選手は全てを出し切った。」力負けを素直に認め、相手が上だったとたたええるのミに感動しました。そして試合後の最後のミーティングでの「今日が終わりはしない。始まりです。覆る瞬間には後悔でなく希望に変えて寝てほしい」素晴らしい言葉の数々です。

K・Yさん【福岡市】

スポーツの逆転勝利の瞬間ですね。

H・Kさん【愛知県】

甲子園にはドラマがあります。

球児の野球にかけた努力と、ここ迄の道のりを思うと皆に拍手と声援を送りたくります。

E・Hさん【庄内町】

素敵な言葉と出会えた時、素敵な絵画と出会えた時、素敵な音楽と出会えた時、すごく幸せで心を動かされる瞬間です。今年の十五夜お月様楽しみですね！

Y・Sさん【福岡市】

今年は近くの広場で見てた赤川の火花ですね。

土手の上に上がった花火はどこで見ても綺麗でしたっけね。来年はボランティアでちょっといい席で見たいなあ。オレンジ色のワイン美味しそうですね！

E・Sさん【福岡市】



J A庄内たがわぶどう部会

私たちぶどう部会は、管内生産者61人がデラウェアや巨峰、シャインマスカットなど様々なぶどうを栽培しています。栽培講習会や目揃え会などを実施し、高品質なぶどうの生産に努めています。収穫時期は8月～10月で、高い糖度と果汁が豊富でみずみずしいぶどうをぜひ味わってください。



J A庄内たがわ櫛引支所なし部会

私たちなし部会は、管内生産者33人が日本ナシを栽培しています。主に幸水や豊水、あきつきを生産しております。栽培講習会や目揃え会などを実施し高品質なナシ栽培につなげていきます。収穫時期は8～9月、みずみずしく清涼感のある甘みの梨をぜひ味わってください。